

令和5年度  
2級建築施工管理技術検定試験  
二次検定試験問題

解答試案

※この解答試案は(有)TYPが独自に制作したものであり、試験実施機関である(一財)建設業振興基金とは一切関係ありません。

問題 2	a	選んだ用語	<b>足場の手すり先行工法</b>
		用語の説明	足場の組み立て作業時に、作業床設置に先行して手すりを設置する工法。
		留意内容	手すりが先行して設置されていない作業床には乗ってはならないことを周知徹底する。
	b	選んだ用語	<b>親綱</b>
		用語の説明	作業員の墜落防止のため、墜落防止用器具のフックを掛けるためのロープ。
		留意内容	親綱は、緊張器等を用い親綱支柱の所定の位置にたるまない程度に張る。
	c	選んだ用語	<b>型枠の剥離剤</b>
		用語の説明	せき板に事前に塗布し、コンクリートの打設後の型枠解体を容易にする薬剤。
		留意内容	メーカー仕様を厳守し、コンクリートの硬化不良など起こさないようにする。
	d	選んだ用語	<b>グリッパー工法</b>
		用語の説明	釘の出たグリッパーを打付け、これに伸長したカーペットを引掛けて固定する工法。
		留意内容	カーペットは、ニーキッカー等を用いて伸展し、たるみやしわが無いようにする。
	e	選んだ用語	<b>コンクリートのレイタンス</b>
		用語の説明	コンクリート打設後セメントや骨材の微粒子により上面にできる脆弱な薄い膜のこと。
		留意内容	強度が期待できないため、特に打継ぎ面では必ず除去処理等を行うように留意する。
	f	選んだ用語	<b>シーリング工事のバックアップ材</b>
		用語の説明	シーリング材の目地深さを、所定の寸法に保持するため目地に装てんする成形材料。
		留意内容	バックアップ材は、シーリング材と接着せず、かつ悪影響を与えないものを選定する。
	g	選んだ用語	<b>ジェットバーナー仕上げ</b>
		用語の説明	石材の表面をバーナーにより加熱・急冷して表面を剥離させる粗面仕上げ方法のこと。
留意内容		火炎により石材の表層を壊すため、強度面を考慮し、加工前の石厚に余裕を見込む。	
h	選んだ用語	<b>隅肉溶接</b>	
	用語の説明	重ね接合やT型に直交する2つの鋼板を溶着金属で接合する溶接のこと。	
	留意内容	隅肉溶接の有効長さは隅肉サイズの10倍以上で、かつ40mm以上を原則とする。	
i	選んだ用語	<b>せっこうボード張りにおけるコーナービード</b>	
	用語の説明	壁の出隅部や下り天井の隅角部で物品の衝突による損傷を防止するために設ける部材。	
	留意内容	コーナービードは、ドリリングタッピンねじ、釘、接着剤などで、しっかり留付ける。	
j	選んだ用語	<b>鉄筋の先組み工法</b>	
	用語の説明	柱や梁の鉄筋を地上又は工場で先組みし、クレーン等で吊上げて設置する工法。	
	留意内容	運送時やつり上げ時に変形しないように、補強筋を入れ組立精度を保つ。	
k	選んだ用語	<b>壁面のガラスブロック積み</b>	
	用語の説明	壁部分に中が空洞になった箱型ガラスを壁用金属枠を用いて積んでいく工法。	
	留意内容	開口部の幅が大きい場合、6m以内ごとの間隔に伸縮調整目地を設ける。	
l	選んだ用語	<b>べた基礎</b>	
	用語の説明	基礎の立上りだけでなく、底板一面が鉄筋コンクリートになっている基礎。	
	留意内容	土に接する部分の鉄筋かぶり厚さは6cm以上確保し、厚さは15cm以上とする。	
m	選んだ用語	<b>木工事の仕口</b>	
	用語の説明	木材相互の組合せ方法で、各部材の側面に他の部材をある角度で接合する部分のこと。	
	留意内容	仕口は、強度上弱点となる重要な部分であるので、金物などで補強を行う。	
n	選んだ用語	<b>木造住宅の気密シート</b>	
	用語の説明	室内の気密性を高めるために、室内側の内装下に貼る防湿を兼ねたシート。	
	留意内容	気密確保のため、十分な重ね代をとり、テープ貼り、端部処理、貫通処理などを行う。	

		解 答	
問題 3	1	①	埋戻し
		②	耐火材巻付け
	2	36 %	
	3	①	断熱材吹付
		②	4月上旬
		③	4,370万円
問題 4	選んだ番号		
	1	④	③
	2	④	①
	3	③	①
	問題5-A 建築	問題5-B 躯体	問題5-C 仕上げ
	選んだ番号	選んだ番号	選んだ番号
1	④	③	③
2	①	④	②
3	③	①	③
4	③	③	④
5	①	②	①
6	②	①	④
7	④	④	①
8	②	②	②